



日本ヘルニア学会 沖縄支部

第2回 沖縄ヘルニア研究会

— プログラム・抄録集 —

日 時：2015年 **1月17日** (土)
13:00 ~ 18:00 (12:00 より受付)

会 場：沖縄県医師会館・3F

当番世話人：仲地厚 (社会医療法人友愛会 豊見城中央病院)



会場までの案内図



日本ヘルニア学会沖縄支部主催 「第2回沖縄ヘルニア研究会」の開催にあたって

当番世話人 仲地 厚 (社会医療法人 友愛会豊見城中央病院 外科)



2013年8月にハートライフ病院・ヘルニア外科 髙原裕夫先生の志のもと、日本ヘルニア学会沖縄支部「沖縄ヘルニア研究会」が発足しました。2014年1月18日には、本研究会の代表世話人の髙原裕夫先生が当番世話人の労を担い記念すべき第1回研究会が開催されました。研究会では県内県外の施設から提示された15演題に対して活発な討議が交わされ特別講演では日本ヘルニア学会理事長の柵瀬信太郎理事長による鼠径部近傍の膜と筋膜と臓器の関係についての詳細な講義が行われ、誕生したばかりの新しい研究会にとっては、この上ない最良の船出となりました。続く6月28日には第4回を数えるヘルニアセミナーが西原町琉球大学の沖縄クリニカルシミュレーションセンターで催され、TAPPの講演とハンズオンセミナーが行われ多くの外科医が参加しました。さらには一年を通じて日本ヘルニア学会や日本外科学会や日本臨床外科学会などの全国学会においても県内外科医からのヘルニアに関する検討発表が行われており臨床に携わる先生方のヘルニア疾患治療に対する絶え間ない探究心が伺えました。

有益で実りの多い集会にする事を使命として、2015年1月17日午後1時から沖縄県医師会館において第2回沖縄ヘルニア研究会を開催させて頂くこととなりました。

今回の研究会のコンセプトは「鼠径ヘルニアと腹壁のヘルニアについて各施設における経験と様々な工夫」としました。「鼠径ヘルニア」、「腹壁ヘルニア」、「稀な症例」、「経験と工夫」の計4つのセッションでそれぞれ貴重な経験と日常診療のヒントになる工夫を提示して頂きます。ご応募頂いた15演題は内容が多彩で、外科医のみならず麻酔医、看護師からの発表があり、術式や診療報酬やクリニカルパスなどの多方面からの検討があり、必ずや有益な研究会となる事が予想されます。様々な術式や質問と討議を行い知識と経験を互いに持ち寄り、結集し、日々の診療に還元できる収穫の多い研究会になるように期待しています。

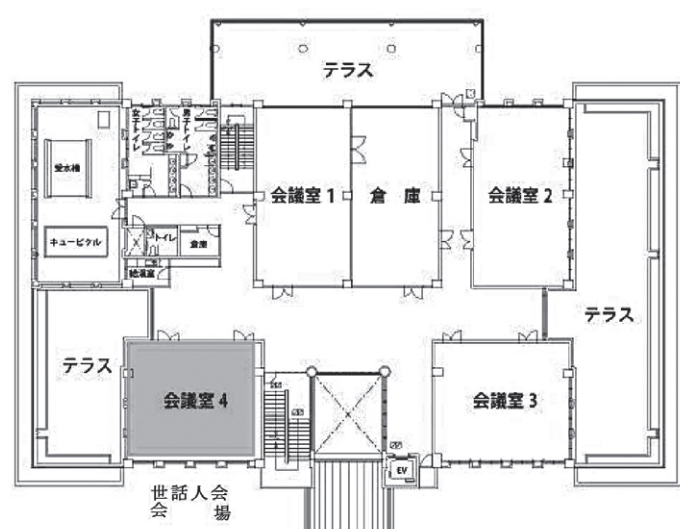
今回の研究会では特別講演の演者として労働者健康福祉機構東北労災病院 副院長 徳村弘実先生をお招きします。徳村先生は、鼠径ヘルニアの治療として腹腔鏡下に膨潤麻酔を組み合わせた創造的な方法で成績の良い芸術的な手術を行う先生です。新たな工夫などが講演では拝聴でき明日からの診療に役立つ事と思います。

若手の先生から指導医まで、多くの幅広い経験年数の外科医に参加して頂き、本研究会が活発な質疑と発展的な討論を交換出来る貴重な集いとなる事を期待しています。

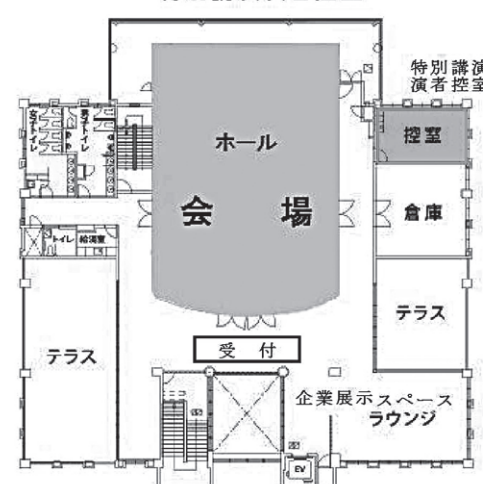
会場内の案内図

沖縄県医師会館

2階 世話人会会場



3階 受付・会場 企業展示スペース 特別講演演者控室



ご参加の皆様へ

1. 参加費は 2,000 円です。受付にてお支払ください。
ただし、前期研修医、コメディカル、看護師は無料です。記帳をお願いします。
2. 受付は 12 時より開始いたします。

演者の皆様へ

1. 発表はすべて口演です。PC にてお願いいたします。
2. PC 発表上の注意点
 - (1) 発表用 PC と電源アダプターをご持参ください。
 - (2) ミラーリング設定を事前に行ってください。
 - (3) スクリーンセーバー、省電力等の設定はお切りになってください。
 - (4) 発表データは念のため CD-ROM または USB メモリースティックにてお持ちください。
 - (5) Macintosh を使用される場合は必ず D-Sub15 ピン変換コネクタをご持参ください。
3. 一般演題の発表時間は次の通りです。
 - (1) 発表 6 分 討論 4 分（1 演題 10 分）です。
 - (2) セッションとセッションの間のスポンサーインフォメーション・休憩は 5 分です。
4. 演者の方は発表の 30 分前までに受付にて、PC の動作状況をオペレーターと共に確認してください。
5. 事務局 PC をご希望の方は、Windows 8/power point2013 です。

座長の皆様へ

1. セッション開始 10 分前までには次座長席におつきください。
2. 時間厳守での進行にご協力をお願いします。

世話人の皆様へ

1. 12 時 30 分より世話人会を 沖縄県医師会館 2F 第 4 会議室にて行います。ご出席をお願いします。

プログラム

開 会 挨拶 13:00 ～ 13:05
当番世話人 仲地厚（社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 / 外科）

【一般演題】

セッションⅠ 鼠径ヘルニア 13:05 ～ 13:55

座長 新垣淳也（社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 消化器病センター / 外科）

- I-1. Direct Kugel 法術後再発に対して腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）を施行した 1 例
〈中頭病院 / 外科〉
宮城良浩、砂川宏樹、林圭吾、後藤倫子、木村祐介、小倉加奈子、馬場徳朗、卸川智文、間山泰晃、嘉数修、兼城達也、當山鉄男、與那覇俊美、大田守雄、大城直人
- I-2. 当院における Lichtenstein 法での鼠径ヘルニア治療について
〈沖縄県立中部病院 / 外科〉
宮地洋介、伊江将史、村上隆啓、福里吉充
- I-3. 鼠径ヘルニア修復術に短期滞在手術等基本料 3 が導入されて
〈原三信病院 / 外科〉
江口徹、当間宏樹、豊田秀一、林早織、小原井朋成、成富元、廣田伊千夫
- I-4. 鼠径ヘルニアパスの見直しによる学びについて
〈社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 / 6 階病棟〉
与那嶺真之介、上原尚美、小濱美穂、仲地厚
- I-5. 卒後教育として施行した小児単径ヘルニア手術 282 例の検討
〈沖縄県立南部医療センター・こども医療センター / 小児外科〉
金城 僚、大城清哲、清水 徹、仲間 司

(スポンサーインフォメーション・休憩 13:55 ～ 14:00)
オブティビュートロッカー xcel 製品紹介
ジョンソンエンドジョンソン株式会社 金古堅太郎

セッションⅡ 腹壁ヘルニア 14:00 ～ 14:30

座長 兼城隆雄（特定医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 / 外科）

- II-1. 当院の傍ストーマヘルニア手術症例の経験
〈浦添総合病院 消化器病センター / 外科〉
新垣淳也、古波倉史子、谷口春樹、本成 永、堀 義城、金井理紀、原 鐵洋、長嶺義哲、伊志嶺朝成、亀山眞一郎、伊佐 勉
- II-2. 腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術後再発に対して腹腔鏡下に修復した 1 例
〈敬愛会中頭病院 / 外科〉
後藤倫子、砂川宏樹、林 圭吾、木村祐介、小倉加奈子、馬場徳朗、宮城良浩、卸川智文、間山泰晃、嘉数 修、兼城達也、當山鉄男、與那覇俊美、大田守雄、大城直人
- II-3. 当院における腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術の検討
〈敬愛会 中頭病院 / 外科〉
卸川智文、砂川宏樹、林 圭吾、木村祐介、後藤倫子、小倉加奈子、馬場徳朗、宮城良浩、間山泰晃、嘉数 修、兼城達也、當山鉄男、與那覇俊美、大田守雄、大城直人

(スポンサーインフォメーション・休憩 14:30 ～ 14:35)
「腹壁ヘルニア市場の現状と腹壁ヘルニア用メッシュ VENTRALIGHT ST」
株式会社メディコン 藤田承平

I-3 鼠径ヘルニア修復術に短期滞在手術等基本料3が導入されて

原三信病院 / 外科

江口 徹、当間宏樹、豊田秀一、林 早織、小原井朋成、成富 元、廣田伊千夫

【はじめに】平成26年度診療報酬改定では鼠径ヘルニア修復術に短期滞在手術等基本料3(短手基3)が導入された。これは本邦初の包括支払方式(PPS)といえる。

【目的】 鼠径ヘルニア治療での短手基3の経営的メリットを評価する。

【方法】 H24 年の診療報酬改定前後において、鼠径ヘルニア修復術の収支を切開手術法 (OIHR) と腹腔鏡下手術法 (LIHR) にて、さらに日帰り手術と通常入院でも比較検討した。

【結果】LIHRの標準的な材料費は170,848円であったが、OIHRでは32,093円と安かったが、他の費用は変わらなかった。短手基3の収支は、入院期間が1日だとLIHRで+160,000円、OIHRでは44,000円であった。短手基3では両側OIHRを除いて、改定前より収支は良好であった。入院期間の短縮による人件費の節約はさらに収支を改善した。

【結語】短手基3では LIHR、「日帰り手術」において医療側のメリットは大きい。

I-4 鼠径ヘルニアパスの見直しによる学びについて

社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 / 6階病棟

与那嶺真之介、上原尚美、小濱美穂、仲地 厚

【初めに】鼠径ヘルニア根治術の臨床的パス(以下CPとする)に対し病院ダッシュボードにて問題点が指摘された。そこで今回、運用の見直しを行った結果、CPの問題点を改善出来たため報告する。

【活動内容】平成 25 年度の鼠径ヘルニア根治術症例を病院ダッシュボードを元に検討した結果、(1)画像医療資源平均金額が高い、(2)注射医療資源平均金額が高い、の2項目が問題点として挙げた。(1)医療安全委員よりガーゼ置き忘れ確認の為、全例レントゲン撮影を行う事になっていたのを必要時のみ行う事に変更した。(2)術中・術後に抗生剤、食事開始になる術翌日に輸液投与になっていたのを術直後の抗生剤と術翌日の補液を削除した。

【結果】(1)100% あったレントゲン撮影率は13% まで低下した。(2)1症例あたり354 円医療費が減少した。

【考察】 CP 見直し後に画像・注射医療資源平均金額はそれぞれ減少しており今回の CP の修正は有効であったと思われる。患者にとって検査や処置が減り医療者にとっては業務の簡素化に繋がったと考える。

【まとめ】CPは医療が標準化され業務に効率化に貢献するツールとして利用されているが適切に見直さなければその効果は十分に得られない。今後も多職種と連携してCPの改善に努めていく予定である。

〈MEMO〉

I-5 卒後教育として施行した小児単径ヘルニア手術282例の検討

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター / 小児外科

金城 僚、大城清哲、清水 徹、仲間 司

目的：当院では単径ヘルニア手術を研修医の基本手術とし、事前の自己学習および前立ち経験の後、術者として Potts 法を施行している。研修医手術例を検討し、手術教育の在り方を考察する。対象と方法：2006 年 4 月～2014 年 10 月まで 990 例の単径ヘルニア手術のうち、研修医が術者の 310 例。他疾患同時手術や両側性を除外した 282 例を検討した。結果：平均年齢 4 歳、平均手術時間 44 分（初期研修医 45.7 分、後期研修医 42.4 分）。初期研修医は症例を重ねても手術時間の短縮はない。一方、後期研修医では有意に手術時間が短縮した。5 例以上執刀した初期研修医は、後期研修に外科系を選択する傾向があった。結語：研修医の単径ヘルニア手術経験は、初期研修医には外科分野への興味の喚起、後期研修医では手術手技の向上として位置づけられた。

〈MEMO〉

Ⅲ-1 腰ヘルニアの一例

ハートライフ病院 / 外科

中川 裕、国吉史雄、白石牧子、澤岷安勝、阿嘉裕之、宮平 工、花城直次、西原 実、
奥島憲彦、嵩原裕夫

【はじめに】腰ヘルニアは腰背部の解剖学的抵抗減弱部位に発生する希な疾患である。今回、腰ヘルニアに対して Direct Kugel Patch による修復術をおこなった 1 例を経験したので報告する。【症例】80 歳台男性。約 10 年前に左背部腫瘤を認め、当院外科を受診。増大傾向がなかったことから経過観察となった。その後、腫瘤の増大傾向を認めたため 2014 年 7 月に当院を再受診した。CT、MRI では左腰部皮下に後腹膜脂肪の脱出を認めた。手術では左第 12 肋骨下縁から尾側にかけて 2 横指大のヘルニア門を触知し、同部位の直上に 7cm の皮膚切開をおいた。広背筋の筋膜を切開すると後腹膜の脱出脂肪を認めこれを可及的に切除した。後腹膜脂肪組織の層を剥離したのち、Direct Kugel Patch を挿入して展開し、ヘルニア門に縫合固定した。術後経過は良好で、術後 6 日目に退院となった。現在まで再発を認めていない。【結語】腰ヘルニアの 1 手術例を経験した。

Ⅲ-2 腹腔鏡下ヘルニア修復術を行った閉鎖孔ヘルニアの1例

浦添総合病院 消化器病センター / 外科

本成 永、亀山眞一郎、新垣淳也、金井理紀、原 鐵洋、谷口春樹、堀 義城、伊志嶺朝成、
長嶺義哲、古波倉史子、伊佐 勉

症例は 80 歳女性。嘔吐を主訴に当院受診、CT 検査で口側の小腸拡張を伴う右閉鎖孔ヘルニア陥頓を認め、同日緊急手術を行った。気腹し腹腔内を観察したところ陥頓は解除されており、ProLoop MESH® を用いてヘルニア修復を行った。ヘルニア嚢を翻転し腹膜を切開し、閉鎖孔内に plug を挿入した。ヘルニア門周囲の腹膜前腔にスペースを作り、直径 2cm 程度の円形に切り取った onlay-patch を敷き、吸収性タッカーで固定し腹膜を縫合閉鎖した。術後問題なく、11 日目に退院となった。今回、われわれは緊急で腹腔鏡下閉鎖孔ヘルニア修復術を行った症例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告する。

〈MEMO〉

Ⅲ-3 膀胱ヘルニアに対しTAPPを施行した一例

社会医療法人 豊見城中央病院 / 外科

花城清俊、仲地 厚、鳥塚大介、東 康晴、島袋伸洋、剣木崇文、錦 建宏

大田守仁、比嘉国基、島袋誠守、我喜屋亮、照屋 剛、比嘉淳子

膀胱ヘルニアは成人鼠径ヘルニアの約1-4%と報告されている。症例は67歳男性、半年前からの右鼠径部膨隆と頻尿を認め受診、右膀胱ヘルニアの診断で腹腔鏡下ヘルニア根治術施行した。臍上に12mm、左右側腹部に5mmのトロカールを挿入し5mmフレキシブルカメラを使用。右のヘルニア嚢には膀胱が脱出していたが容易に還納可能であり、ヘルニア分類のI—2であった。内側臍ヒダと膀胱を内側に牽引しながら通常通り腹膜前腔を剥離、膀胱の位置を確認するために尿管から生理食塩水を200ml注入した。メッシュはバード 3D Max(ライトタイプ/Mサイズ)を使用しパーマフィックスで数カ所固定した。膀胱ヘルニアに対しTAPPで治療し得たため、手術動画を供覧しながら手技の工夫について述べる。

〈MEMO〉

Ⅳ-1 右鼠径ヘルニア嵌頓症例に対して用手還納後、両側腹腔鏡下ヘルニア修復術を施行した1例

県立宮古病院 / 外科

井上 学、松村敏信、滝上なお子、浅野志麻、川満博昭

【はじめに】 近年鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術は一般的な術式となりつつあるが、緊急手術となるヘルニア嵌頓に対し、腹腔鏡下手術を施行した症例報告は少ない。

【症例】56歳男性、来院当日の朝から立位時に急激な陰嚢腫大と右鼠径部の痛みを主訴に来院。用手還納困難であり、CTにて右陰嚢内に少量の腹水と回盲部の嵌頓を認めたため、同日緊急手術とした。全身麻酔下にて用手還納可能であったため、腹腔鏡下に腸管虚血や虫垂炎の所見がないことを確認後、右鼠径ヘルニアを腹腔鏡下に修復。左も大網が入り込んでおり、同様に修復した。術後5日目で退院し、現在再発所見なく経過観察中である。

【考察】嵌頓ヘルニアに対する腹腔鏡下手術の利点としては、虚血腸管の観察や対側ヘルニアの観察、ヘルニア術中診断等が挙げられる。癒着等により還納困難な症例は、前方アプローチを併用する方法も考慮される。若干の文献的考察を加えて報告する。

当院では2013年から腹腔鏡下ヘルニア修復術を導入し、2013年10月から2014年10月までの1年間で13例の腹腔鏡下ヘルニア修復術を経験。両側：3例、片側：10例、平均手術時間は片側で106分、両側で192分であった。平均出血量は約3mlで全ての症例に膨潤麻酔法を導入している。

Ⅳ-2 抗凝固剤・抗血小板剤内服患者に対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の検討

社会医療法人 豊見城中央病院 / 外科

仲地 厚、鳥塚大介、花城清俊、東 康晴、島袋伸洋、剣木崇文、錦 建宏、大田守仁
島袋誠守、照屋 剛、我喜屋亮、比嘉国基、比嘉淳子、城間 寛

【はじめに】 抗凝固剤・抗血小板剤内服患者に対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の治療成績と術後経過と合併症を検討し手術の安全性について考察した。

【結果】2013年6月から2014年11月までに当院で施行した鼠径ヘルニア手術は119例でTAPP法による腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術は69例であった。そのうち抗凝固剤・抗血小板剤を内服している症例は14例であった。抗凝固剤内服の4例すべてに術前ヘパリン化を行い抗血小板剤内服の12例は内服継続で手術を行った。14例の平均出血量は3.2ml(0-5ml)。14例中2例の再発性症例と1例の膀胱脱出症例と1例の両側症例を除いた片側初発例10例の平均手術時間は113分であった。術後合併症は1例に臍部のSSIを認め術後出血や血腫や再発はなく脳血管疾患や循環器疾患の合併症はなかった。

【まとめ】抗凝固剤・抗血小板剤を内服している患者であっても慎重な周術期管理と手術を施行すれば安全に手術が施行可能であると思われた。

〈MEMO〉

IV-3 前立腺がん術後の外鼠径ヘルニア3例に対するcone mesh + LPEC 法 (かりゆしモデル2)

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 / 外科 ヘルニア外科

国吉史雄、西原 実、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平 工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫

【背景】前立腺癌に対する根治的恥骨後前立腺全摘術 (RRP) 後に発症する外鼠径ヘルニアの頻度は 6.4 ～ 23.9% と報告されている。そのヘルニア修復術は RRP の術操作による Retzius 腔の癒着性癒着で難渋することが少なくない。RRP 後の外鼠径ヘルニア 3 例に対し Retzius 腔の癒着剥離を必要としない corn mesh を併用した LPEC 法をおこなっているのを報告する。

【症例】66歳と80歳と71歳の男性で、前立腺癌に対する前立腺全摘+リンパ節郭清術後1年目と5年目に左鼠径部に、また他の1例は2年目に右鼠径部に膨隆をみとめるようになった。

【手術】臍部の5mmトロカーからの鏡視下所見では2例に左側のI -2 型のヘルニアと1例に右側のI -2 型のヘルニアをみとめた。2mm Needle 鉗子を穿刺留置し、cone mesh をヘルニア門の部位で3カ所逢着固定したのちLPEC suturing を2重に行いヘルニア門を閉鎖した。

【まとめ】本術式は原則として 2-port(カメラポート、ミニポート)で行うことができ、TAPP と異なり腹膜切開や鼠径床剥離を行わない。したがって術侵襲は小さく、さらに corn mesh をヘルニア門に逢着固定することで鼠径管後壁およびヘルニア入口部を補強することができ LPEC 法よりも再発のリスクを減少させるのに寄与すると考えている。

IV-4 2つの末梢神経ブロック法による成人腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術術後鎮痛効果の比較検討

ハートライフ病院 / 麻酔科

嘉手苺由梨、釜野武志、奥間陽子、久場良也

我々は前回、成人腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 (TAPP) の術後鎮痛に関し、腹横筋膜面ブロック (TAPB) に NSAIDs を併用する事で硬膜外鎮痛に劣らない良好な術後鎮痛が得られる可能性があることを報告した。今回我々は TAPP の術後鎮痛に対し TAPB と腹直筋鞘ブロック (RSB) の効果を比較検討したので報告する。全身麻酔導入後、術前に超音波ガイド下側方アプローチ TAPB を両側に施行し術後鎮痛をコントロールする群 (以下 T 群) 9 例と臍の横で両側に超音波ガイド下 RSB を施行し術後鎮痛をコントロールする群 (以下 R 群) 9 例に分けて比較検討した。propofol、rocuronium、remifentanyl による迅速導入後、sevoflurane、remifentanyl で麻酔維持した。両群とも導入維持の際 fentanyl は使用しなかった。手術終了後 30 分以内の強い痛みを 10 点満点で自己評価したスコア (疼痛スコア) を比較した。スコア 5 点以上でレスキューとして他鎮痛薬を併用し、スコアが改善したのを確認して帰室とした。帰室後は看護経過記録で 24 時間後方追跡し、鎮痛薬使用回数を確認した。両群を Mann-Whitney の U 検定を用いて評価した。T 群の平均最大疼痛スコアは 4.78、R 群は 5.44 ($p=0.401$) であった。平均退室前疼痛スコアは T 群で 2.33、R 群で 2.78 ($p=0.280$) であった。24 時間以内の平均術後鎮痛薬使用回数は T 群で 1.00 回、R 群で 1.22 回 ($p=0.665$) であった。帰室後の平均鎮痛薬使用回数は E 群 0.33 回、T 群 0.67 回 ($p=0.374$) で両群に差は見られなかった。以上の結果を受け若干の文献的考察を交えながら報告する。

〈MEMO〉

会 則

第1条 名 称

本会は、日本ヘルニア学会沖縄支部「沖縄ヘルニア研究会」と称する。

第2条 目 的

本会は、沖縄県における腹部ヘルニアの医療技術・学問的研究等の向上をめざし、よりハイクォーリティなヘルニア医療を広く県民に提供して県の医療福祉に寄与することを目的とする。また、会員相互の情報交換、連携と親睦を図ることを目的とする。

第3条 事 業

本会は、目的を達成するために次の事業を行う。

原則として年1回以上の学術集会（研究発表会・講演会等）を開催する。

その他、本会の発展に必要な事業を行う。

第4条 会 員

- 本会を構成する会員は、第2条の目的に賛同する医師・その他の医療従事者や研究者とし、会員または賛助会員とする。
- 会員は、本会事務局へ入会の手続きをとり、学術集会等の開催案内をうけることができる。

第5条（役員および任期）

- 本会に次の役員をおく。
代表世話人 1名
世話人 若干名
会 計 1名
監 事 1名
- 世話人会は、役員をもって構成し、会の運営を議し執行する。役員および世話人の選出は世話人会の了承を得て行われる。任期は2年とし、再任を妨げない。
- 代表世話人は、世話人会により定められ本会を代表する。
代表世話人は、会務を総括し、年1回以上の世話人会を開催する。任期は2年とし、再任を妨げない。
- 当番世話人は、世話人の中から選出され研究会の開催、運営をおこなう。
- 会計担当世話人は、事務局長を兼任し事務局業務を総括する。
- 役員は、日本ヘルニア学会会員とする。

第6条 事 務 局

本会の事務局は、当分のあいだ「社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院外科」に置く。

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集208

TEL：098-895-3255 FAX：098-895-5685

第7条 顧問、名誉会員

世話人会の推挙により顧問、名誉会員をおくことができる。

顧問は、本会の運営活動に対し実質的な参加が困難な指導的立場にあるものを推挙する。

名誉会員は、本会の維持、発展に貢献のあった世話人を推挙する。

第8条 会 費

- 会費（2,000円）は、会の開催時に年会費（参加費を含む）として徴収し、一部を特別講師の謝礼等にあてる。
- 賛助会員は、年会費として一口50,000円以上納入する。

第9条 会 計

本会の会計年度は、1月1日より12月31日とする。

本会の収支決算は、事務局長が会計年度ごとに行い監事の監査を受け世話人会で承認を得る。

第10条 会則変更等

会則の変更ならびに定められていない事項は、世話人会で討議し決定する。

第11条 細 則

- 本会の運営は、日本ヘルニア学会沖縄支部「沖縄ヘルニア研究会」が主催する。
- 本会の開催に当たり、当番世話人は次の業務を賛助会員に協力を要請することができる。
・研究会開催に必要な労務、・プログラムの作成と会員への案内、
・事務局代行業務、・その他
- 賛助会員は、本会の開催に当たり広告・器械展示等を持って会の運営に協力するものとする。
- 本会の開催時期は、原則をして2月頃とする。

附則：

・本会則は、平成25年11月1日より実施する。

・平成25年11月1日に第8条会費の条項を改定した。

役 員 名 簿

代表世話人	髙原裕夫	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
-------	------	----------------------

担当世話人	仲地 厚	社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
-------	------	-------------------

世話人(50音順)	新垣淳也	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
-----------	------	------------------

	大嶺 靖	沖縄赤十字病院
--	------	---------

	兼城隆雄	特定医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院
--	------	---------------------

	金城 僚	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
--	------	------------------------

	金城隆夫	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
--	------	------------------------

	佐辺直也	琉球大学医学部附属病院 第一外科
--	------	------------------

	砂川宏樹	社会医療法人敬愛会 中頭病院
--	------	----------------

	平良勝己	医療法人祥杏会 おもろまちメディカルセンター
--	------	------------------------

	八幡浩信	沖縄県立北部病院
--	------	----------

	比嘉 聡	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院
--	------	-------------------

	比嘉宇郎	社団法人 北部地区医師会病院
--	------	----------------

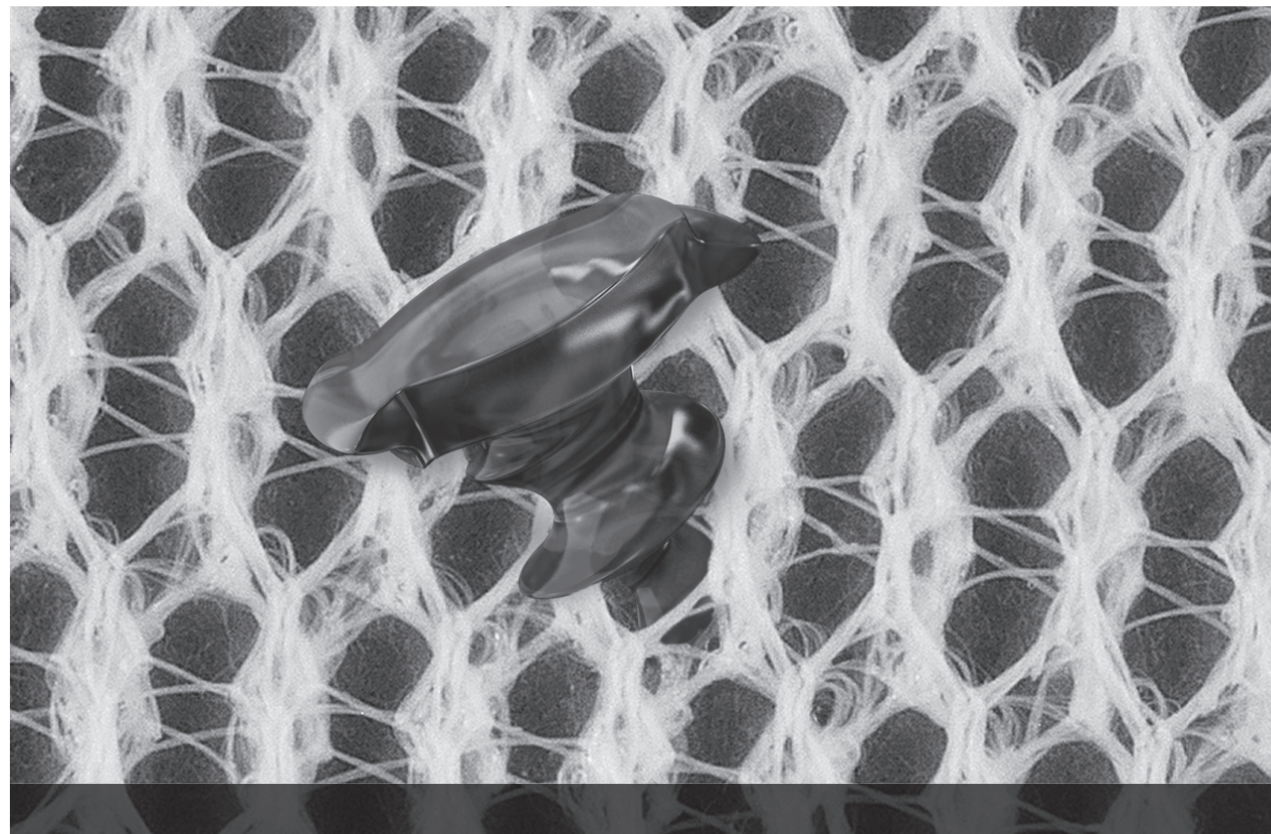
	福里吉充	沖縄県立中部病院
--	------	----------

会計(事務局長)	西原 実	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
----------	------	----------------------

監事	友利寛文	地方独立行政法人 那覇市立病院
----	------	-----------------

顧問	西巻 正	琉球大学医学部附属病院
----	------	-------------

	奥島憲彦	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
--	------	----------------------

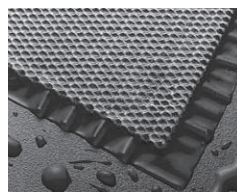


オプティマイズド PCO (PCOx) メッシュ & アブソーバタック™

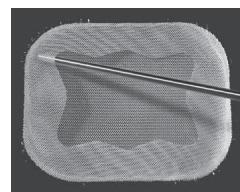
Ventral Hernia Procedural Solutions

吸収性コラーゲンフィルム

- ・腹腔内臓器との癒着を軽減
- ・体内残留異物を軽減



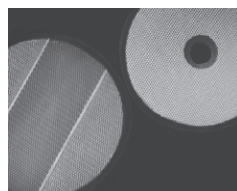
腹壁癒痕ヘルニア用



腹壁癒痕ヘルニア用
(オープンアプローチ)

親水性

- ・線維芽細胞の増殖および定着を促進
- ・メッシュ内への早期組織形成に寄与



傍ストーマヘルニア用



食道裂孔ヘルニア用

販売名：オプティマイズドPCO 医療機器承認番号：224008ZX00405000 販売名：バリテックス コンポジット メッシュ 医療機器承認番号：223008ZX00122000
販売名：アブソーバタック 医療機器承認番号：221008ZX00949000

COVIDIEN、COVIDIENロゴマーク及び“positive results for life”はCovidien AGの商標です。
TMを付記した商標はCovidien companyの商標です。© 2014 Covidien.

製造販売元 **コヴィディエン ジャパン株式会社**

〒158-8615 東京都世田谷区用賀 4-10-2
PHONE (03) 5717-1270 FAX (03) 5717-1279 <http://www.covidien.co.jp>



COVIDIEN

positive results for life™

INFORMATION

心のかよう医療器ハッコー | 本製品はディスポーザブル製品です。
製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

承認番号：21900BZX00941000
単回使用ワイヤ・結さつ糸バサミ 管理医療機器

縫合糸誘導針

ラパヘルクロージャー™

LAPA-HER-CLOSURE

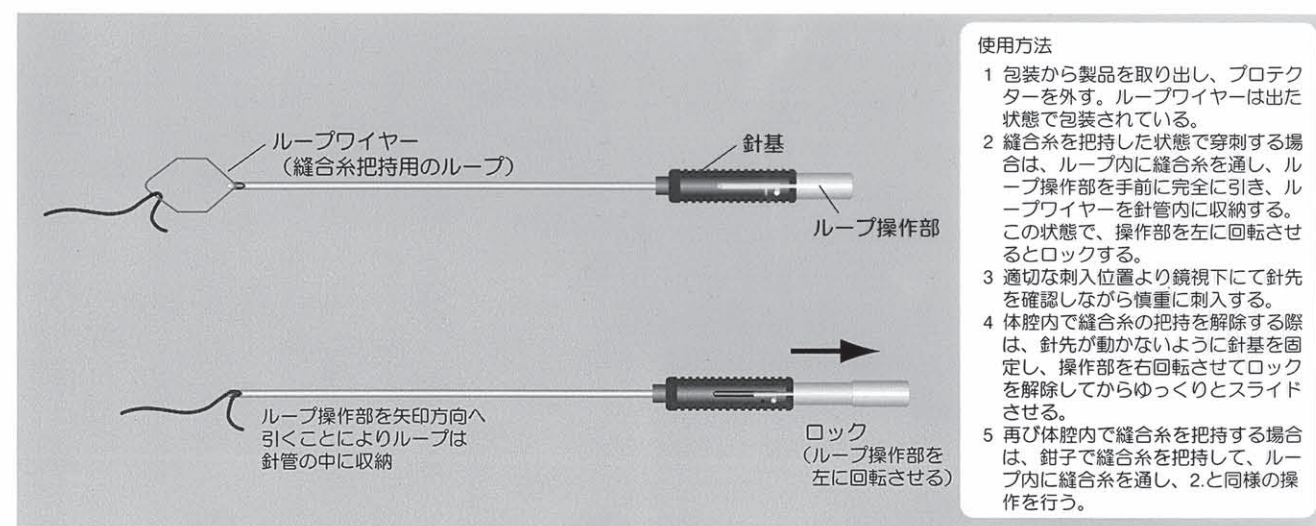
用途

腹腔鏡下小児鼠径ヘルニア手術（LPEC法）
における縫合糸の誘導

特長

- ラパヘルクロージャー（針管）の外径は19Gで、2-0サイズまでの縫合糸に対応します。
- 内針先端に縫合糸把持用のループ構造があり、簡単な操作で糸を把持することができます。また、把持の解除も容易です。
- 縫合糸を把持したまま経皮的に目標部位へ刺入できます。

LPEC法：腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術



使用方法

- 1 包装から製品を取り出し、プロテクターを外す。ループワイヤーは出た状態で包装されている。
- 2 縫合糸を把持した状態で穿刺する場合は、ループ内に縫合糸を通し、ループ操作部を手前に完全に引き、ループワイヤーを針管内に収納する。この状態で、操作部を左に回転させるとロックする。
- 3 適切な刺入位置より鏡視下にて針先を確認しながら慎重に刺入する。
- 4 体腔内で縫合糸の把持を解除する際は、針先が動かないように針基を固定し、操作部を右回転させてロックを解除してからゆっくりとスライドさせる。
- 5 再び体腔内で縫合糸を把持する場合は、鉗子で縫合糸を把持して、ループ内に縫合糸を通し、2.と同様の操作を行う。

仕様

製品コード	サイズ
19G×130mm	把持用のループ径：0.21mm

包装形態

1箱5本入、1本毎ピールオープン包装、EOG滅菌済

- ・本製品をご使用になる前に、必ず製品に添付されています医療機器添付文書をお読み下さい。
- ・医療機器添付文書には、製品の使用方法、使用上の注意などの重要な情報が記載されています。

販売窓口

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 NKDビル5階 ☎(03)5804-8500
ホームページ <http://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 ☎(011)611-8580 | 横浜 ☎(045)954-2111 | 名古屋 ☎(052)914-8500 | 福岡 ☎(092)411-4100
仙台 ☎(022)257-8502 | 長野 ☎(026)276-3083 | 大阪 ☎(06)6453-9102 | 熊本 ☎(096)379-5806
柏 ☎(04)7147-8500 | 金沢 ☎(076)253-8500 | 岡山 ☎(086)243-3985 | 本郷商品管理センター
本郷 ☎(03)5804-8500 | 静岡 ☎(054)282-4185 | 松山 ☎(089)935-8517 | ☎(03)5840-8502

製造販売

株式会社 **ハッコー**
メディカル事業部



〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地



ETHICON

PART OF THE Johnson & Johnson FAMILY OF COMPANIES

Better surgery for a better world

製造販売業者：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー 本社 〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

高度管理医療機器 販売名：バイクル プラス 承認番号：220008ZX01652000	一般医療機器 販売名：ダーマボンド アドバンスド 届出番号：13B1X00204ME0008	高度管理医療機器 販売名：サージレックス エンシールシステム 承認番号：218008ZY10087000
高度管理医療機器 販売名：PDS プラス 承認番号：223008ZX00333000	管理医療機器 販売名：J-VAC ドレナージ システム 承認番号：202008ZY00540000	高度管理医療機器 販売名：エンシール G2 ディッシュシーラー 承認番号：225008ZY00547000
処方せん医薬品 販売名：サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 医薬部外品承認番号：14700AMY00205000	管理医療機器 販売名：エンドパス トロカカーシステム 承認番号：219008ZY00882000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック ACE 承認番号：218008ZX10164000
高度管理医療機器 販売名：プロキシメイト ILS 承認番号：219008ZX00879000	管理医療機器 販売名：エンドスコピック パード リニヤー カッター 承認番号：225008ZX00396000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック FOCUS 承認番号：221008ZX00832000
高度管理医療機器 販売名：EES ジェネレーター 承認番号：225008ZX0119000	管理医療機器 販売名：EES リニヤー カッター スタイプラー 承認番号：223A08ZX00075000	

製造販売元

株式会社メディカルリーダース
第一種医療機器製造販売業許可番号:13B1X00172

本社・東京営業所
 〒113-0034 東京都文京区湯島4-2-1 杏林ビル5F
 TEL：03-5803-9271 FAX：03-5803-9275
<http://www.leaders.co.jp>

TILENE®

鼠径ヘルニア修復用メッシュ

新素材
チタンコーティングメッシュ

生体適合性：患者様の術後QOL向上に貢献することを期待して、従来のポリプロピレンにチタンをコーティングしました。

更なる軽量化：ライトウェイト（35g/㎡）に加え、エクストラライトウェイト（16g/㎡）もご用意しました。

販売名：タイレーン メッシュ
承認番号：22200BZX00830000

■ 製造販売元

株式会社メディカルリーダース
第一種医療機器製造販売業許可番号:13B1X00172

本社・東京営業所
 〒113-0034 東京都文京区湯島4-2-1 杏林ビル5F
 TEL：03-5803-9271 FAX：03-5803-9275
<http://www.leaders.co.jp>

■ 製造元

pfm medical titanium gmbh (ドイツ)

pfmmedical

Quality and Experience

医科器械・医療材料の総合商社

Medico

全てはみんなの笑顔のために

株式会社 沖縄メディコ

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3-3-11 TEL(098)876-5280(代表) URL <http://www.okinawa-medico.com>

